

令和5年度第2回いわて県民情報交流センター（アイーナ）指定管理者選定・評価委員会〔議事録〕

1 日 時 令和5年7月24日（月） 13:30~16:00

2 場 所 いわて県民情報交流センター 研修室 811

3 進 行

開会、挨拶（大内連携協働課長）、新任委員紹介に続き、吉野英岐委員長の進行により審議を行った。

4 議 事 : 令和4年度指定管理業務の評価について

(1) 評価等の進め方について【資料1】

(2) 事前評価結果について

(3) ヒアリング

(4) 委員による評価

(5) 委員会による評価、意見交換

(6) 令和4年度指定管理業務の評価結果報告書（案）について【資料2】…委員照会のうえ、報告書を調整することとし、最終決定については、委員長一任とされた。

5 出席者

区分	所 属	職 名	氏 名	備 考
委 員 (五十音順)	岩手弁護士会	弁護士	佐藤 あすか	
	一般社団法人岩手県建築士会盛岡支部	副支部長	武田 裕次	副委員長
	認定NPO法人 accomon	理事長	成田 礎野美	
	一般財団法人 北海道東北地域経済総合研究所	理事・主席研究員	蓮江 忠男	新任
	Coaching Office	代 表	平野 順子	
	特定非営利活動法人 陸前高田まちづくり協働センター	理事長	三浦 まり江	欠席
	公立大学法人 岩手県立大学総合政策学部	教授	吉野 英岐	委員長
指 定 管理者	統括グループ	統括責任者	佐藤 渉	
		維持管理業務 統括責任者	佐藤 正崇	
	運営グループ	運營業務統括責任者	澤田 良久	
		運營業務責任者	藤澤 剛彦	
	維持管理グループ	維持管理業務責任者	田中 直樹	
	清掃グループ	清掃業務責任者	田中 義夫	
警備グループ	警備業務責任者	大坪 隆行		
事務局	岩手県環境生活部 若者女性協働推進室	連携協働課長	大内 玲子	
		特命課長	佐藤 宏昭	
		主任主査	村上 明子	
		主査	八重樫 恵美	
		主事	渡邊 大夢	

6 傍聴者: 0名

議事：令和4年度指定管理業務の評価について

- 1 評価等の進め方について【資料1】 … 質疑等特になし
- 2 事前評価結果について… 質疑等特になし
- 3 ヒアリング …以下のとおり。

評価項目① 快適な利用環境の創出

指定管理者において令和4年度の取組について説明を行い、委員がヒアリングを実施した。

[吉野委員長]

参考資料2の4ページの高等支援学校において、避難訓練を実施したとのことだが、避難訓練の内容について、具体的に教えてほしい。

[指定管理者]

- ・盛岡峰南高等支援学校は、授業として扱っており、数年間継続している。
- ・避難訓練の内容は、コロナ禍前は、アイーナに備蓄している食料のうち、期限切れになりそうなものを食べてみるということを実施していたが、現在はコロナ感染症との兼ね合いから食べながら話せないなので、黙食が必要な状況になっているので実施していない。
- ・その備蓄食品の東日本大震災津波（以下「3.11」という。）発生の際には、アイーナに避難してきた人たちが、実際に床で寝ているところなどの写真があるので、代替措置として、先生と相談しながら写真を選定したうえで生徒に3.11の当時の状況を写真により説明し、実際避難する際に備えて、例えば避難場所の確認をしておこうとか、事前準備をしましょうなどといった説明を行っているところ。
- ・また、避難した際は、コロナ感染症にも合わせて気をつけましょうというところを2、3年前からブレゼン形式で説明しつつ、備蓄倉庫の見学をしてもらった後に、6階の一角を使用し、防火シャッターを下ろすとどうなるかということ、指定管理者（防災チームの）方で対応してもらい、避難誘導灯を確認するなど実践的で、普段見られない、体験できないような取組や、併せて毛布体験についても、フローリングの部屋で、寝る場所をつくり、寝てもらって、片付け、避難階段で下まで降りてというようなどころまでを実施しているところ。

[吉野委員長]

- ・どのくらいの時間をかけて実施しているのか。また、参加者数はどのくらいか。

[指定管理者]

- ・半日かけて実施している。

[指定管理者]

- ・盛岡峰南高等支援学校は2学年なので、今年は30名ぐらい。
- ・盛岡青松支援学校高等部は、もう少し少なくて20名弱ぐらいとなっている。

[吉野委員長]

生徒たちの反応や感想はいかがか。

〔指定管理者〕

・反応や感想としては、事前の準備が大事ということが分かったという感想や、避難時の毛布で寝るとかの疑似体験も非常に良かったというお話をいくつかいただいている。

〔蓮江委員〕

・3.11の話が出てきたが、震災時には、最初避難所ではなかったということもあり、困難な状況に直面したと思うが、その際の経験や教訓などを活かされているという理解でよいのか。

〔指定管理者〕

・当時は避難場所に指定されていなかったもので、何も無い状態で3.11が起きてしまったという状況であったが、当日、近隣施設は電気がつかず、アイーナだけが翌日まで電気を利用できる状況で、近隣住民やJRの方からも人が集まってきて、結果、かなりの人数となった。

・そのような状況のなかで、寝る場所はそれぞれ協力して作ったりしたが、食料品を配るという経験はなかったのもその辺が大変だった。また、情報をどのように出すかという点、それらについては経験のなかったことなのですごく大変だったし、アイーナで情報を出すことができますよ、といったことも生徒にお話しをしながら訓練を行ったところ。

評価項目② 利用者の声の反映／県民参加型の施設運営

指定管理者において令和4年度の取組について説明を行い、委員がヒアリングを実施した。

〔吉野委員長〕

・コロナ感染症の影響で、ステイホームの期間が増えたことを踏まえ、アイーナでもウェブを活用した情報発信に取り組んでいる。

・小田島組☆ほ〜るにおいて開催された演奏会のシーンなどをYouTubeにも動画をアップしている。動画のカウンター機能もついていて、97件程度になっているが、この数字についてどのようにとらえているのか。

〔指定管理者〕

・アイーナHPにもYouTubeを張り付けているため、そちらに集中している可能性もあるかと思う。

・いずれにしてもカウント数についてはTwitterなど、今後展開していこうと考えているツールなども含め、今後どのように拡散していくかということや、施設間の連携の中でお互いツイートし合うことにより相乗効果を狙うとか、そういったところで地道に情報発信を進めながら、再構築していかなければならないと思っている。

・よって、今後の検討課題としてとらえ、次の提案の中にも活かしていきたい。

〔吉野委員長〕

・せっかく作った作品なので、見ていただく数を増やし、見やすい作品に変えていくとか、いろいろ改善点があると思われる。

・尺が長いので3分程度にして、続きは別建てのYouTubeにするなどの方法はあると思われる。

[指定管理者]

・吹奏楽のYouTubeはやむを得ないと思われるが、世の中の流れとしても、動画のショート化にどのように対応していくのかという課題、悩みがあり、ショートコンテンツを取り扱っていくかどうか、ということも含め現在、展開の方法について検討しているところ。

[武田委員]

- ・刑務所の品物をヒューマンギャラリーで販売している件についての提案がある。
- ・少年刑務所の製作品の販売会は、かなりの人が訪れる。一方、盛岡市の松園地区に所在しているためなかなか足を延ばしにくい面もある。
- ・彼らが制作した木工製品等は非常に質が高く、製品をかなりの数量買っていく人たちもいることや、他県の少年刑務所は常設で販売しているところもあるようだが、岩手県の少年刑務所では常設で販売していないといった点がある。
- ・例えば、そのような人気のイベントや公的な施設とタイアップして、アイーナで販売会を開催するとか、例えば一箇所だけだと集客力の問題もあるので、授産施設とかそのような施設を単発で考えるとなかなか集まらないけれど、まとめると集客につながるといったようなものを、複数まとめて1階から8階まで集めて販売会を開催するとか、アイーナは立地条件が良いため、今後のイベント開催方法のヒントとして検討してほしい。

[指定管理者]

- ・にぎわい創出の方法として今後、検討させていただく。

[吉野委員長]

・利用者の声として意見や苦情がすべて掲載されているのかという質問があるが、質問の趣旨について説明をお願いします。

[佐藤委員]

- ・意見を聴取する目安箱的なものは、すごくありがたいような意見もある一方で、おそらくその誹謗中傷とまではいかないまでも、ホームページに掲載しにくい内容もあるだろうと思われたので質問したものの。
- ・説明や資料のなかで、かなり回答がHPに掲載されている印象を受けた一方で、HPの掲載の有無について、個人情報などが掲載されている場合などは、掲載しない場合もある状況ということで理解した。

[吉野委員長]

- ・先ほどの話の続きになるかもしれないが、外でやっているものをアイーナの利便性の高さを利用して、呼び込んでやってみるのはどうか。例えば県内では水産技術センター、工業技術センター、花きセンターなど、条例において立地や設置が義務付けられているため沿岸等にあるが、足を伸ばすにはやや遠いという施設があると思われる。そのような施設も展示物などもあり、販売会やイベントについてもやっているのに見せる機会がなかなかないものをアイーナに呼び込んで活用してみてもどうか。
- ・民間施設より非常にリーズナブルであることを考えると、アウトリーチの逆のように、公的な性格の強いスペースを、先ほどの刑務所の話もそうだが、出張展示などに活用できないか。
- ・アイーナは、本当に利便性が高く、そこが施設の付加価値になっていると思うし、快適な空間なので活用に向けいろいろ検討してほしい。

・鉄道模型などをやるといろんな人が集まってびっくりするが、公的な施設とのコラボレーションについて、市町村のものも含めて検討してみてもどうか。

〔指定管理者〕

・リバースアウトリーチについての検討課題と理解した。良いヒントをいただいたので、検討したい。
・本来ここでやらないものを、アイーナでやる方法を考えているところ。
・アウトリーチを実施したのは、岩手県が広いので、どのようにアイーナを発信していけばよいかということ考えた結果でありアイーナに呼び込むという点では、高齢者向けの健康イベントとか県北のファッションのイベントなどもアイーナの利用促進のキーワードになってくると思う。

評価項目③ 入居施設間の有機的な連携

指定管理者において令和4年度の取組について説明を行い、委員がヒアリングを実施した。

〔平野委員〕

・運営協議会とセンター長会議は、目的はどう違うのか。

〔指定管理者〕

・運営協議会は参加者だけで言うと全入居施設であり、エネルギー、例えば停電についての事務的なお知らせ、定例的な事務連絡、情報の共有、喫煙等に対する苦情などを扱っている。建物全体の運営に関することと捉えてほしい。
・センター長会議は、NPO活動交流センターが主催し、アイーナ5階・6階の国際交流協会や環境学習交流センターなどの運営者グループの打合せの場になっており、一緒に何が活動できるかという催事関係などの打合せをする場となっているところ。また、SDGsのポータルを作るに際して打合せの場となった。

〔平野委員〕

・運営協議会とセンター長会議を進めている、議長的な役割は指定管理者が担っているのか。
・指定管理者のイベント実行委員会への参画はどのような感じで進めているのか。

〔指定管理者〕

・運営協議会は指定管理者の統括、センター長会議は、NPO活動センターとなる。
・イベントについては、主催者は各施設なので、指定管理者は施設の運営などの面から、どのように進めていくかなどを含め関わっているところ。

〔吉野委員長〕

・参考資料2の11ページだが、SLのような写真が写っているが。

〔指定管理者〕

・アイーナのライトアップの写真に合わせてSL銀河が走っているところを写っているもの。写真の上手な方がいる。

[吉野委員長]

・利用方法や表現方法によっては、なかなか思いつかないようなアイーナの見せ方をしているので、Twitter や Instagram などでも上手く発信してほしい。

評価項目④ 県民への情報提供（県内全域へのサービス提供）

指定管理者において令和4年度の取組について説明を行い、委員がヒアリングを実施した。

[吉野委員長]

- ・回線はどの会議室に引いているのか。また、利用者からどのような声をいただいているのか。
- ・利用料は上乗せになっていないのか。
- ・大型のコンベンションを行うには利便性が高まったということか。

[指定管理者]

- ・小田島組☆ほ〜る、804AとB、803号、812号の5か所、150人から50人程度が入る会場に優先的に導入しているところ。
- ・主に学会等となるが、オンライン会議を行う場合、すぐ使えること、臨時回線を引くための料金の負担、敷設のための下見や利用者の準備が不要であること、通信のスピードが速く、アクセス制限がないなど、安心感があり一番評価をいただいているところ。
- ・利用料は自主事業なので上乗せしている。
- ・広い部屋で利便性が高まったということで、高い効果が得られたと考えているところ。

[吉野委員長]

- ・これは、自主事業で効果が得られて良かったかなという点と考えられる。

[指定管理者]

- ・そのとおり。今後の展開については、検討していきたいと考えている。

[平野委員]

- ・めんこいテレビで情報番組で放送しているということだが、番組名が分かれば教えてほしい。

[指定管理者]

- ・サタデーファンキーズαで、オープニングに直結する形で、90秒実施している。

[平野委員]

・めんこいテレビの審議員もやっているの、アイドルグループの出番待ちの女の子もいるので、効果が高いと思ったため確認したもの。

評価項目⑤ 適切な施設運営

指定管理者において令和4年度の取組について説明を行い、委員がヒアリングを実施した。

[蓮江委員]

・東日本大震災の経験や教訓が、例えばマニュアル、取組、訓練など、具体的に引き継がれているものがあるのか。

[指定管理者]

・指定管理者の期間の5年間において、人材育成、教育面で大きかったことは、防災士の資格を取ろうという点が一番大きかったと思う。

・3.11の際、避難所になるという準備などはしていない中で、避難所のようになって、色々な方々がアイーナに来た。例えばどこのガソリンスタンドで石油を買えますか、とか、そういった情報を張り出し、それを国際交流協会が英語に訳し、学生ボランティアが来てくれるとか、そういったことを具体的にやった。そこまでまとめるのがかなり大変だったので、防災士の資格を取って、まだ防災士の資格を取っただけではというところはあるが、防災士の資格視点をベースに、避難所を開設するときのマニュアルに落とし込んでいくというようなことはまだ具体的にない状況。なお、備蓄の取り扱いなどについて、定めたりということを行っている。

4 委員会による評価、意見交換

各委員がヒアリングの結果に基づき事前評価の内容を確認

評価項目ごとの評価値について協議した結果、評価については、以下のとおりとなった。

- ① 快適な利用環境の創出…計画を上回る優れた管理運営がなされている。【評価5】
- ② 利用者の声の反映及び県民参加型の施設運営…概ね計画どおりの管理運営が行われている。(標準)【評価4】
- ③ 入居施設間の有機的な連携…概ね計画どおりの管理運営が行われている。(標準)
- ④ 【評価4】
- ⑤ 県民への情報提供(県内全域へのサービス提供)…概ね計画どおりの管理運営が行われている。(標準)【評価4】
- ⑥ 快適な施設運営…概ね計画どおりの管理運営が行われている。(標準)【評価4】

5 令和4年度指定管理業務の評価結果報告書(案)について

事務局から資料2に基づき説明し、9月公表に向けて作業を進めることとした。